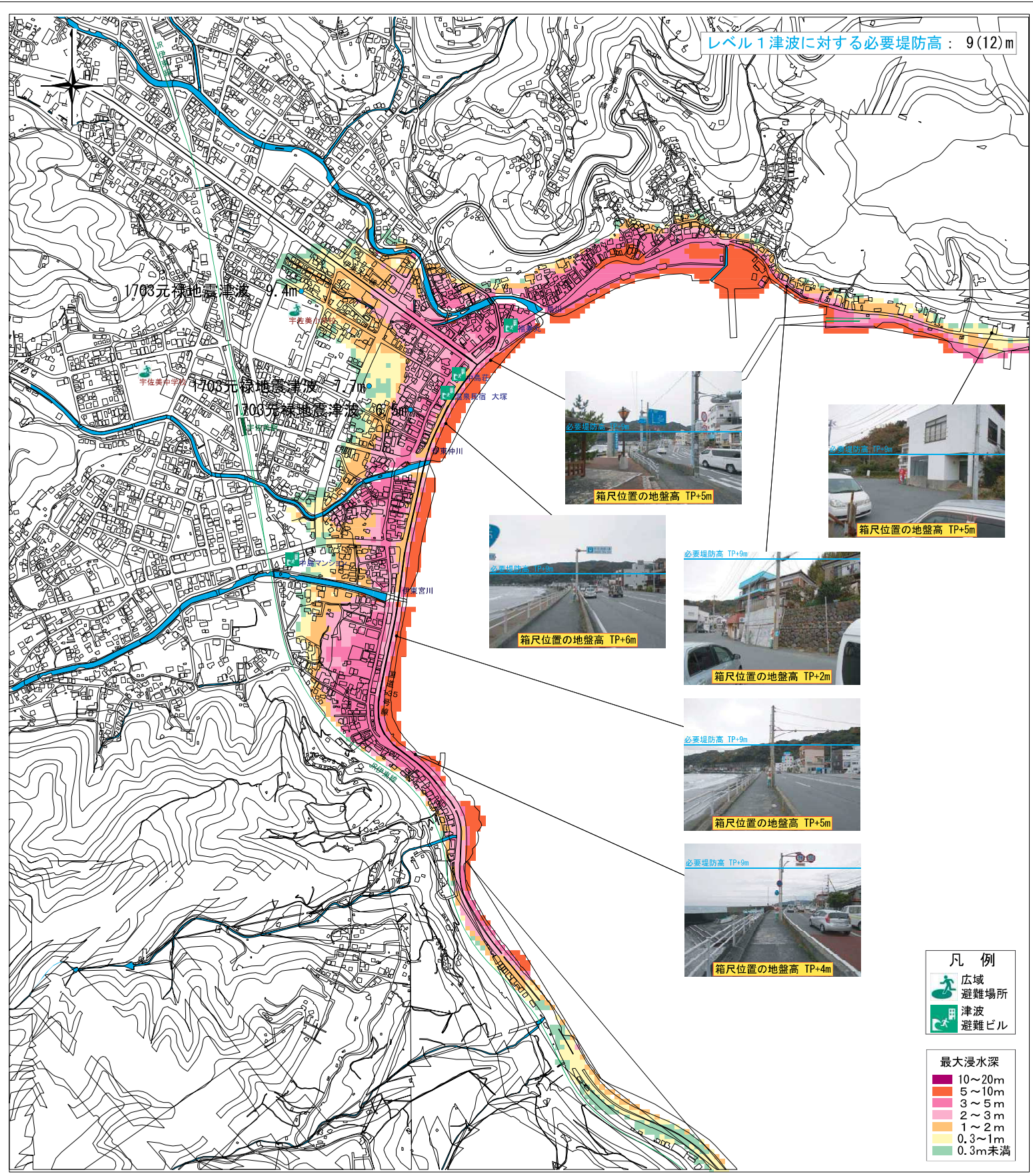


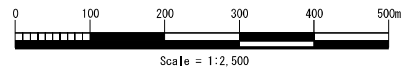
宇佐美地区 地区協議会用参考図

第3回地区協議会資料
(平成28年6月22日)



大正型関東地震（レベル1）最大浸水深図（m）

レベル1津波の平均発生頻度は200~400年と推定。
過去の津波の出典：津波痕跡データベース（東北大学・原子力規制庁）
レベル1津波に対する必要堤防高の（ ）は地域海岸内に港湾や漁港等の防波堤等が存在することによる減衰効果や隅角部等での津波の取散により津波高の変化が確認できるために細分して設定した区間のレベル1津波に対する必要堤防高です。
この地図は、県で作成した浸水想定区域図と国土地理院の基盤地図情報を重ね合わせた参考図です。
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用しました。（承認番号 平26情使 第861号）



- 凡例
- 広域避難場所
 - 津波避難ビル
- 最大浸水深
- 10~20m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 1~2m
 - 0.3~1m
 - 0.3m未満